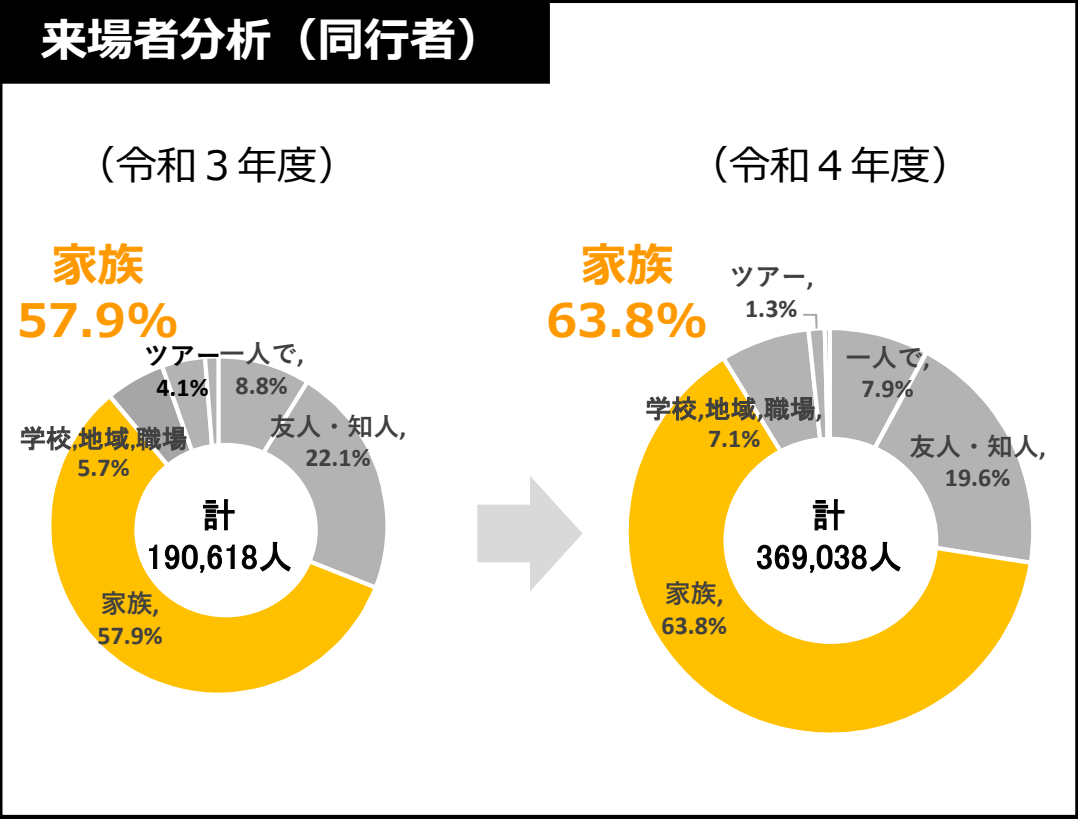
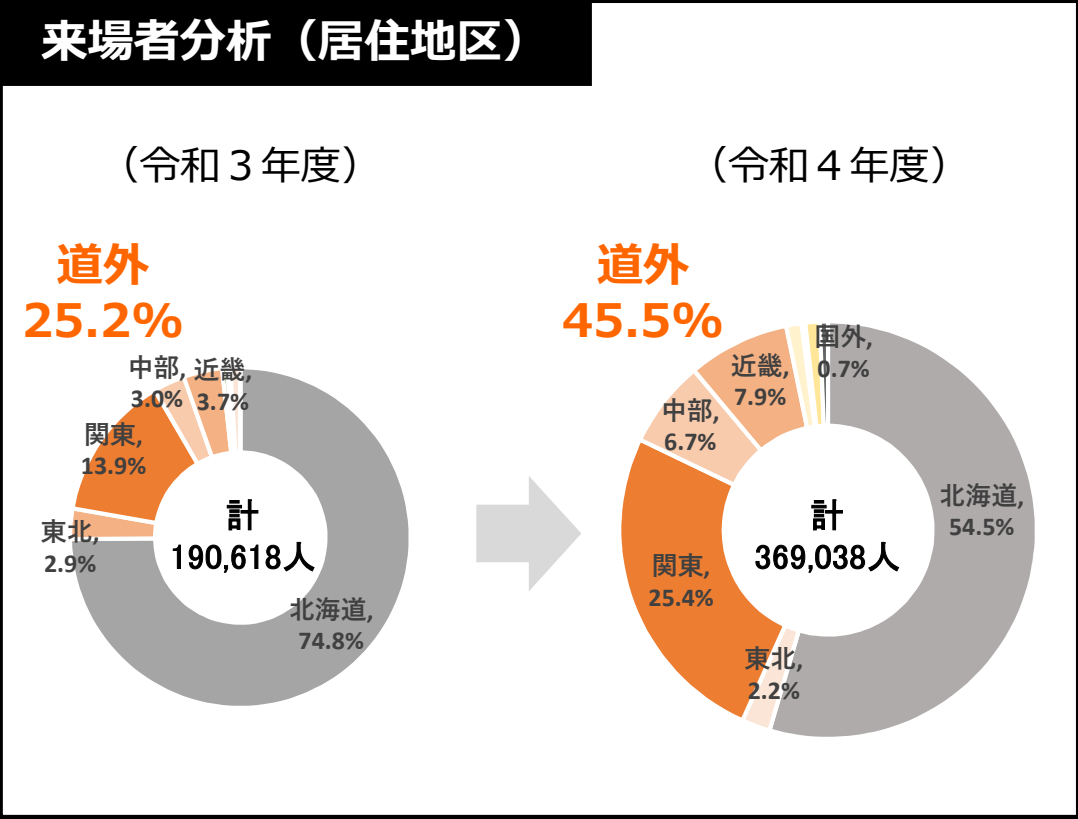


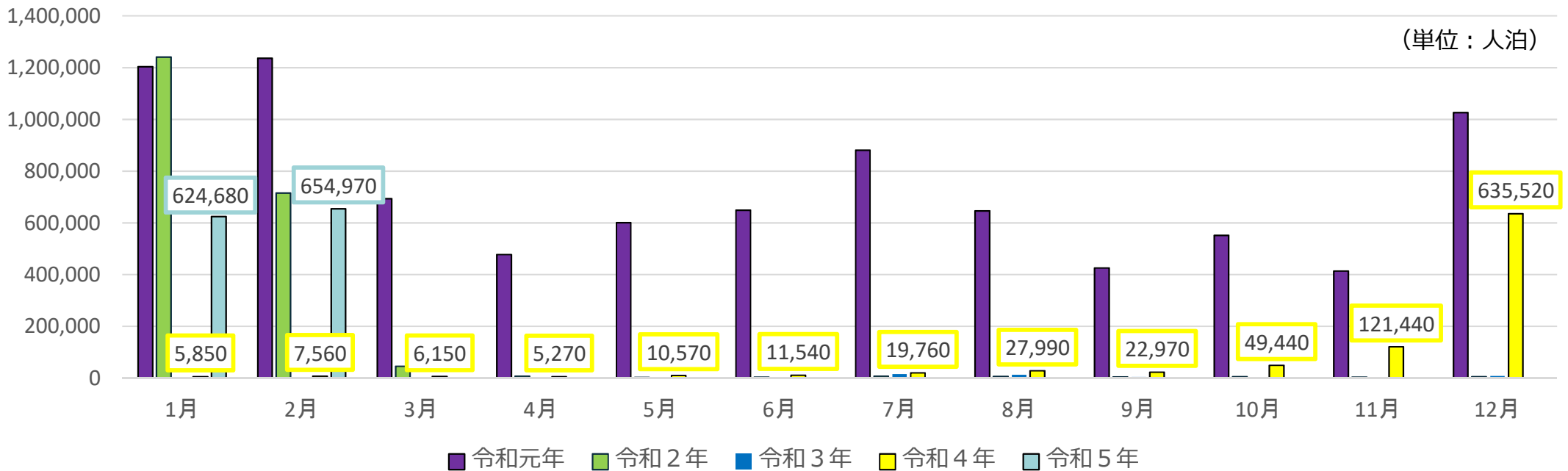
- 令和4年度の年間来場者数は369,038人となっている。
- 居住地区を分析すると、最多は「北海道」で54.5%、以下「関東」25.4%、「近畿」7.9%と続いている。道外からの来場は45.5%であり、前年度に比べるとシェアが20.3%増加し、約半数を占めるに至った。
- 同行者を分析すると、最多は「家族連れ」で63.8%、以下「友人・知人」19.6%、「一人で」7.9%と続いている。前年度と同じく、家族連れが約6割を占めている。



(ウポポイ来場者アンケートより国土交通省作成)

北海道における外国人延べ宿泊者数(ご参考)

- 新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいたインバウンド来道者数は、令和4年より復調傾向。コロナ前（令和元年）のおよそ半分の水準まで回復。
- 国別で見た場合、コロナ前の令和元年はアジア圏の来道者割合が高く、本年においても中国を除き同様の傾向。



○国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（従業員10人以上の施設）（上位10カ国のみ）

	中国	台湾	韓国	香港	タイ	オーストラリア	アメリカ	シンガポール	マレーシア	フィリピン
令和元年2月 (コロナ前)	344,770	156,540	140,390	90,060	71,290	47,820	39,480	26,640	23,130	12,910
	韓国	台湾	香港	タイ	アメリカ	オーストラリア	中国	シンガポール	マレーシア	フィリピン
令和5年2月 (コロナ後)	148,700	117,960	53,000	51,730	36,090	27,000	26,200	21,590	17,370	9,700

- 更なる誘客に向け、初の道外出張公演を行ったほか、多くの国民が注目する場所に広告を出稿。季節特別イベントを引き続き実施すると共に、新たなイベントの造成を実施予定。
- また、インバウンド獲得に向け、海外での情報発信やプレスツアー等によりウポポイの魅力を発信。

道外に向けたアイヌ文化発信

- ▶ウポポイ初となる道外出張公演を岡山シンフォニーホールにて開催（令和5年2月24日）



令和6年2月には渋谷公会堂（東京）にて出張公演を実施予定

- ▶多くの道外客が来場するさっぽろ雪まつりや国内外から注目を浴びるエスコンフィールド北海道に広告を出稿



さっぽろ雪まつり



エスコンフィールドHOKKAIDO

インバウンドに向けたアイヌ文化発信

- ▶海外現地メディア向けセミナーやプレスツアー、ファミツアー等により海外へアイヌ文化の情報を発信



在NY総領事館と連携したセミナー

海外記者向けプレスツアー

季節に合わせたイベントの実施

- ▶入場者増加が見込めるGW・夏期休暇期間等を見据えた特別イベントの実施



GW特別イベント



夏期特別イベント
(イメージ)

- 政府全体の少子化対策の一環として、こども連れや妊娠中の方を対象とする「こどもファスト・トラック」をGWより実施。
- ウポポイは家族での来客が多いところ、今後も取組を継続し、来場しやすい環境の確保に努める。

実施箇所①：エントランス

自動券売機 5 台のうち、1 台をこども連れや妊娠中の方向けの券売機として設置

実施箇所②：体験交流ホール

入場時において、こども連れや妊娠中の方を優先的に案内するよう誘導



(案内・周知)



(エントランスの優先券売機)

(こども連れや妊娠中の方向けの優先券売機である旨の標示)



(体験交流ホールにおける一般来場者行列)